

A diamond necklace with a large emerald pendant. The necklace is made of a chain of diamonds, and the pendant is a large, round, faceted emerald surrounded by a ring of diamonds.

# BUSINESS REPORT

第60期 株主通信

2018年4月1日 ~ 2019年3月31日

TOKYO KIHO

証券コード：7597



代表取締役社長 **政木喜仁**

## 株主の皆様へ

株主の皆様には、日頃は格別のご支援を賜り、厚く御礼を申し上げます。

ここに当社第60期（2018年4月1日から2019年3月31日まで）における事業の概況を取りまとめましたので、ご報告を申し上げます。今後とも一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2019年6月

### ◆ 当期の概要 *Review of Operation*

当事業年度におけるわが国経済は、企業収益や雇用・所得環境の改善が持続するなど景気は緩やかな回復基調が持続しております。しかし、米中貿易摩擦を背景に中国経済の減速が見られ、欧州においても英国のEU離脱交渉への不安感の高まりなどから減速基調で推移しております。

宝飾業界におきましては、依然としてジュエリーに対する消費マインドが向上しているとは言えず、ジュエリー市場全体が大きな伸びを欠いている状況となっております。

このような状況にあって、当社は従来通り僱事関係を営業活動の中心にすえて、商品力の強化を図り販売促進活動にも積極的に取り組んで参りましたが、売上高は前年を下回る結果となりました。

利益面においては、売上総利益は、付加価値の高い商品の販売やコスト低減により前期を上回ることができました。し

かし営業利益は、人件費の増加、貸倒引当金繰入額の発生、60周年記念事業等の経費の増加により昨年を大きく下回る結果となりました。経常利益は、コミットメントフィー及び不動産賃貸原価の減少により営業外の収支が改善した事により、営業利益のマイナスを埋め、ほぼ前期と同水準となりました。また、昨年10月に前代表取締役による不適切な取引が判明し、第3四半期において訂正有価証券報告書及び訂正四半期報告書並びに訂正決算短信を公表いたしました。これに伴い、過年度決算訂正関連費用として91百万円の特別損失が発生したため、当期純損失となりました。

その結果、売上高4,626百万円（前期比5.7%減）、営業利益21百万円（前期比66.3%減）、経常利益82百万円（前期比0.1%増）、当期純損失24百万円（前期は当期純利益56百万円）となりました。

## 心から心へジュエリーでつなぐ豊かな未来

東京貴宝は、経済的な豊かさだけでは決して得られない「夢や感動や癒し」を求める心をジュエリーという形に表現してお客様につないでいくことが使命と考えております。

ジュエリーは生活必需品ではありませんが、単なる形としての美しさだけではなく、お客様の思いや歴史や物語が投影されて、その人の人生に潤いと豊かさをもたらすものだと思っています。

東京貴宝は、ダイヤモンドジュエリー、カラーストーンジュエリー、パールジュエリーなどフルアイテムを提供できるジュエリー総合商社としての役割を担いつつ、オリジナリティ豊かでハイクオリティなジュエリー開発に邁進しております。

東京貴宝は、原材料の仕入からジュエリーを身に着けてくれるお客様まですべての段階で、すべての人々が幸せと感じられるような企業を目指しています。

### ◆ 次期の見通し Forecast

次期の見通しにつきましては、米中貿易摩擦や英国のEU離脱問題など世界経済の減速が懸念され、国内においても10月に予定されている消費税増税の影響などにより企業収益や個人消費への影響など先行き不透明な状況です。これらの不安要素は、ジュエリー業界にとって厳しい状況を招くのではないかと懸念しております。

このような状況の中、売上の増加を図ることは極めて厳しい状況であるものと予想しております。この状況にあって、当社は採算性を重視した取り組みを行い、付加価値の高い商品開発やコスト低減により収益力を強化する取り組みを行ってまいります。

これにより、売上高については4,540百万円（前期比1.9%減）と予想しております。利益面につきましては、営業利益31百万円（前期比49.8%増）、経常利益83百万円（前期

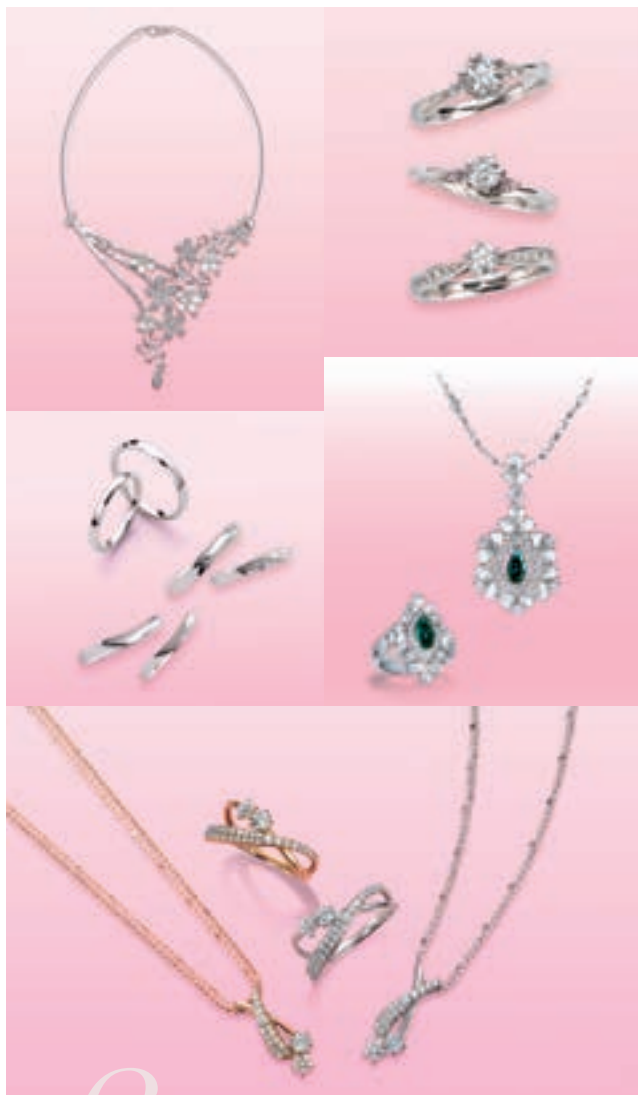
比1.1%増）、当期純利益66百万円（前期は当期純損失24百万円）となる見込みであります。

また、次期の剰余金の配当につきましては、適切な内部留保を確保した上で、株主還元を重視し、当期同様、通期で1株当たり80円（中間配当40円、期末配当40円）とさせていただきます。予定であります。

# Topics || トピックス



「奇跡（輝石）との出会いから生まれる  
未来（夢）の実現」「エクレブ—ECREVE—」は、  
輝き【eclat】と夢【reve】に想いを込めた  
ブランドです。



さくらダイヤモンド®  
Cherry blossoms diamond  
*Sakura*

さくらダイヤモンド。  
それは和の心と  
ヨーロッパのモダニズムの融合を  
コンセプトに開花した美意識の結晶。

## LUCCIOLA



女優・夏樹陽子デザインのブランド。  
ルシオラとはイタリア語、ラテン語で蛍を意味します。  
これは以前夏樹さんが夢の中で見た無数の蛍の光が  
すべてダイヤモンドだったことに、  
強烈な印象と言葉では言い表せない幻想的なイメージを  
受けたことに由来してブランド名としました。



## Asplendi

“日常の中の小さな非日常”をテーマに  
大人の女性の遊び心を満足させる  
ジュエリーを提案するアスプレнди。  
さりげなくも大胆な“ピンキーリングコレクション”は、  
アスプレндиの代表作です。

# Non-Consolidated Financial Statements || 財務諸表

## 貸借対照表 (要旨)

(単位: 百万円)

科 目	当期 (第60期) 2019年3月31日現在	前期 (第59期) 2018年3月31日現在
<b>資産の部</b>		
流動資産	4,881	4,680
固定資産	2,086	2,247
有形固定資産	390	403
無形固定資産	11	14
投資その他の資産	1,684	1,830
<b>資産合計 POINT 1</b>	<b>6,967</b>	6,928
<b>負債の部</b>		
流動負債	2,556	2,348
固定負債	1,184	1,263
<b>負債合計</b>	<b>3,740</b>	3,612
<b>純資産の部</b>		
株主資本	3,219	3,278
資本金	636	636
資本剰余金	504	504
利益剰余金	2,106	2,165
自己株式	△ 27	△ 27
その他有価証券評価差額金	7	37
<b>純資産合計</b>	<b>3,226</b>	3,315
<b>負債純資産合計 POINT 2</b>	<b>6,967</b>	6,928

## 損益計算書 (要旨)

(単位: 百万円)

科 目	当期 (第60期) 自2018年4月 1 日 至2019年3月31日	前期 (第59期) 自2017年4月 1 日 至2018年3月31日
売上高	4,626	4,908
売上原価	3,125	3,434
売上総利益	1,501	1,473
返品調整引当金戻入額	1	2
返品調整引当金繰入額	1	1
差引売上総利益	1,501	1,474
販売費及び一般管理費	1,480	1,411
営業利益	21	62
営業外収益	175	185
営業外費用	114	165
経常利益	82	82
特別利益	6	—
特別損失	111	5
税引前当期純利益 (△は損失)	△ 22	76
法人税、住民税及び事業税	3	14
法人税等調整額	△ 2	5
当期純利益 (△は損失) POINT 3	△ 24	56

## キャッシュ・フロー計算書 (要旨)

(単位: 百万円)

科 目	当期 (第60期) 自2018年4月 1 日 至2019年3月31日	前期 (第59期) 自2017年4月 1 日 至2018年3月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 208	116
投資活動によるキャッシュ・フロー	57	△ 13
財務活動によるキャッシュ・フロー	93	△ 45
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△ 58	58
現金及び現金同等物の期首残高	455	397
現金及び現金同等物の期末残高	397	455

## 決算のポイント

## POINT 1 資産

総資産は、前期末と比べ39百万円(0.6%)増加し6,967百万円となりました。主な変動内訳は、商品の増加255百万円、投資有価証券の減少70百万円、長期貸付金の減少62百万円、現金及び預金の減少58百万円等であります。

## POINT 2 負債純資産

負債合計は、前期末と比べ128百万円(3.6%)増加し3,740百万円となりました。主な変動内訳は、短期借入金の増加217百万円、社債の減少40百万円、長期借入金の減少24百万円等があります。

また、純資産合計は、前期末と比べ89百万円(2.7%)減少し3,226百万円となりました。主な変動内訳は、主な変動内訳は、利益剰余金の減少59百万円、その他有価証券評価差額金の減少29百万円等によるものです。

## POINT 3 当期純利益

売上高は前期を下回りましたが、売上総利益率に改善が見られ、売上総利益は前期を上回る事となりました。しかし営業利益は、貸倒引当金繰入額の発生等により低迷いたしました。

営業外において収支が改善した事により、経常利益はほぼ前期と同水準となりましたが、過年度決算訂正を行い91百万円の特別損失が発生したため、当期純損失となりました。

その結果、売上高4,626百万円(前期比5.7%減)、営業利益21百万円(前期比66.3%減)、経常利益82百万円(前期比0.1%増)、当期純損失24百万円(前期は当期純利益56百万円)となりました。

## 株式の状況

(2019年3月31日現在)

◆ 発行可能株式総数	1,311,000株	
◆ 発行済株式数	442,111株 (自己株式5,745株を除く)	
◆ 株主数	218名	
◆ 大株主		
株主名	持株数(株)	持株比率(%)
政木喜三郎	43,887	9.9
有限会社ケイ・エム商事	30,000	6.8
東京貴宝取引先持株会	25,100	5.7
中川千秋	22,050	5.0
政和商事株式会社	19,879	4.5
有限会社ウラケイパール	16,500	3.7
株式会社古屋	15,700	3.6
さが美グループホールディングス株式会社	15,400	3.5
政木喜仁	15,400	3.5
政木ふじ江	14,238	3.2

(注) 持株比率は、自己株式(5,745株)を控除して計算しております。

## 役員の内訳

(2019年6月27日現在)

代表取締役社長	政 木 喜 仁
取締役会長	政 木 喜三郎
取締役	染 未良生
取締役	染 谷 和 行
社外取締役	嘉 村 孝
常勤監査役	石 河 正 晴
監査役	矢 田 慶 來
監査役	富 所 淳

## 会社の概要

(2019年3月31日現在)

- ◆ 社名 東京貴宝株式会社
- ◆ 設立 1960年11月
- ◆ 所在地 **【本社】** 〒110-0015 東京都台東区東上野1-26-2  
TEL 03-3834-6262 (代表)  
**【大阪営業所】** 〒542-0081 大阪市中央区南船場3-7-30 菅田ビル  
TEL 06-6252-7838 (代表)
- ◆ 資本金 6億3,660万円
- ◆ 事業内容 貴金属宝飾品の企画、製造、輸入および卸売業
- ◆ 従業員数 86名
- ◆ 子会社 TOKYO KIHU OVERSEAS (HK) LIMITED
- ◆ URL <http://www.tokyokiho.com>

## 株主還元について

当社は株主に対する利益還元を最優先課題と認識しております。今後の経営環境および業績等を勘案しつつ株主還元を重視し、継続的な安定配当を行うことを基本といたしております。適切な内部留保を確保した上で、株主に対する積極的な利益還元に努めて参ります。

# Stock Holders Memo || 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
期末配当金	毎年3月31日における最終の株主名簿に記録された株主様にお支払いいたします。
中間配当金	取締役会の決議により中間配当を実施する場合、毎年9月30日における最終の株主名簿に記録された株主様にお支払いいたします。
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	同上
ご連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  TEL 0120-232-711 (通話料無料) 受付時間 9:00~17:00 (土日休日除く)
上場証券取引所	東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード)
公告の方法	電子公告 当公司公告につきましては、下記ホームページに掲載いたします。ただし、電子公告によることが出来ない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。 <a href="http://www.tokyokiho.com/kessan.html">http://www.tokyokiho.com/kessan.html</a>
【ご注意】	<ol style="list-style-type: none"><li>株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱い出来ませんのでご注意ください。</li><li>特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。</li><li>未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。</li></ol>